

CONTENTS

- 2 第1回定例会のあらまし
- 4 議案の審議結果
- 5 一般質問 Q & A
(代表質問、個人質問)
- 10 委員会の焦点
- 13 予算審査特別委員会の概要



第1回定例会

発行／君津市議会

編集／きみつ市議会だより編集委員会



写真の位置は
ここです！
※地図の方角は写真向きに
合わせてあります



市道八重原線が開通！



君津市
マスコットキャラクター
きみぴょん

4月21日に「市道八重原線」が開通し、開通式が行われました。市道八重原線は三直と常代を結ぶ約1.1kmの路線で、平成29年から建設が開始されました。開通式では、石井市長をはじめ、浜田靖一衆議院議員ほか、多くの関係者が参列される中、市議会を代表して三浦章議長が祝辞を述べました。

市道八重原線の開通により君津インターチェンジ周辺と鹿野山方面のアクセスが向上し、観光や農業などの経済の活性化が期待されます。



第1回 定例会 の あらまし

令和4年度一般会計予算など

議案35件を議決

第1回定例会は、2月17日から3月25日までの37日間の会期で開かれ、定例会の冒頭に、市長から令和4年度の施政方針演説がありました。

今定例会では、令和4年度君津市一般会計予算など市長提出の34議案、委員会提出の1議案を審議し、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

一般質問では、各会派の代表質問と個人質問が行われ、代表質問では5会派8人が、個人質問では5人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

本会議討論



●議案第6号

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対

昨年12月の定例会においても、一般職の職員等の期末手当減額に対して反対を表明した。対象者が会計年度任用職員であつても、給与等の減額には同意できない。

賛成

昨年12月の定例会において、一般職の職員の期末手当について、千葉県人事院勧告に準じて、引下げを行ったところであり、会計年度任用職員の期末手当についても、県や近隣市の状況を踏まえ、一定の引下げを行うことは、やむを得ないと理解する。

●議案第25号

令和4年度君津市一般会計予算

反対

きみさらず聖苑整備運営事業は木更津市主導で実施され、君津市民に十分な事業計画の説明がない。市民不在の広域行政に反対する。

賛成

きみさらず聖苑整備運営事業について

は、令和4年12月の新火葬場の供用開始に向け、適宜、市民等に対し説明や報告を行っていること、また、広域化をすることについては、将来にわたり、持続可能な行政運営を図るためにも有効な方策であると理解する。

今後も、市民の命と暮らしを守るため、円滑なワクチン接種等の感染防止対策や継続的な生活支援など、喫緊の課題に取り組むとともに、各事業についても、スピード感を持って取り組むことを期待する。

賛成

長引くコロナ禍にあつて、市民の健康・生活を守るための取組を最優先としつつ、市内経済の活性化や老朽化した公共施設の整備等新たな君津の未来を創る予算編成がなされていると理解する。そのような中で、新たな拠点づくりや公共施設の再整備における工事、設計委託にあたっては、今般の世界的なインフレ傾向が依然として先行き不透明な中、建設資材価格の高騰、資材の調達、人材の確保等を鑑み、延べ床面積の縮減や適正な工事・委託期間の確保に努めていただき、最小のコストで最大の効果が発揮されることを期待する。

●議案第26号

令和4年度君津市国民健康保険特別会計予算

反対

国民健康保険税を払いたくても払えない

い世帯に対し短期被保険者証・資格証明書を発行していることから、賛成できない。

賛成

短期被保険者証や資格証明書の発行は、負担の公平性の観点からも、適正な運用がなされているものと考える。

●議案第28号

令和4年度君津市介護保険特別会計予算

反対

介護保険料の引上げにより、要介護者を含む高齢者の負担が増えているため、反対する。

賛成

住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指し、支援体制の構築や介護基盤の整備に努めているものと理解する。今後も、介護給付費の適正化の取組などを行いながら、介護保険制度の円滑な運営を望む。

●議案第29号

令和4年度君津市後期高齢者医療特別会計予算

反対

制度そのものに反対する。

賛成

後期高齢者医療制度は、高齢者が安

心して医療が受けられるための必要不可欠な社会保障制度であると理解する。

君津市議会委員会条例の一部改正

行政組織の見直しに伴い、効率的かつ効果的な委員会活動を行うため、委員会条例を改正しました。(施行日：令和4年4月1日)

名称	所管事項	名称	所管事項
総務 常任委員会		総務 常任委員会	市民生活部
教育福祉 常任委員会	保健福祉部	教育福祉 常任委員会	福祉部・健康こども部
経済環境 常任委員会	市民環境部・経済部	建設経済 常任委員会	経済環境部

※所管事項は変更部分のみ掲載しています。

人事案件に同意

人権擁護委員 伊藤 修一
(宿原)

危機管理監 石倉 丈士
(千葉市稲毛区宮野木町)

令和3年度一般会計補正予算

主な事業の紹介

今定例会では、令和3年度君津市一般会計補正予算(第12号、第13号、第14号)に係る議案の審査を行いました。

議案第20号
補正予算(第13号)

民生費

放課後児童健全育成事業 52万9千円

民間保育園運営費補助金 702万1千円

放課後児童クラブや民間保育園の保育従事者の収入(令和4年2、3月分)を3%程度引き上げるための経費を補助します。

土木費

地籍調査事業 1億3,777万2千円

第6工区(中富)及び第7工区(下湯江)の地籍調査を行います。



地籍調査の様子

土木費

交通安全施設整備事業 2,644万円

通学路における危険箇所解消のため、カラー舗装、ガードレール設置等の安全対策を実施します。



カラー舗装、路面標示

教育費

学校保健事業 2,115万円

国庫補助金の交付決定に伴い、学校の感染症対策用品を購入します。

教育費

公民館応急耐震補強事業 5,584万7千円

公民館(小糸・小櫃)の応急耐震補強工事を行います。

令和4年

君津市議会第1回定例会 議案の審議結果



出席議員全員が賛成した議案（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第16号	君津市子だから祝金支給条例を廃止する条例の制定について
議案第2号	君津市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について	議案第17号	財産の無償貸付について
議案第3号	君津市庁舎整備基金条例の制定について	議案第18号	事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について
議案第4号	行政組織の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	議案第19号	令和3年度君津市一般会計補正予算(第12号)についての専決処分の承認を求めることについて
議案第5号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第20号	令和3年度君津市一般会計補正予算(第13号)
議案第7号	君津市山中育英基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第21号	令和3年度君津市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第8号	君津市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	議案第22号	令和3年度君津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
議案第9号	君津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	議案第23号	令和3年度君津市介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第10号	君津市環境衛生施設設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第24号	令和3年度君津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議案第11号	君津市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第27号	令和4年度君津市農業集落排水事業特別会計予算
議案第12号	君津市花と緑のまちづくり基金条例を廃止する条例の制定について	議案第30号	市民体育館屋根・外壁改修工事請負変更契約の締結について
議案第13号	君津市高額療養費貸付基金条例を廃止する条例の制定について	議案第31号	令和3年度君津市一般会計補正予算(第14号)
議案第14号	君津市国民健康保険出産費資金貸付基金条例を廃止する条例の制定について	議案第32号	令和3年度君津市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案第15号	君津市国際交流基金条例を廃止する条例の制定について	議案第33号	令和4年度君津市一般会計補正予算(第1号)
		議案第34号	危機管理監の任命について

◆委員会提出議案

議案番号	件名
発議案第1号	君津市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

賛否の分かれた議案

◆市長提出議案

			議決結果	令和新政					創政会				きみつ未来		公明党		かがやき君津		諸派	鈴木					
				三浦章	宇野晋平	村上幸人	須永和良	加藤喜代美	小倉靖幸	下田剣吾	保坂好一	高橋明	小林喜久男	石上壘	松本裕次郎	磯貝清	高橋健治	佐藤葉子	野上慎治	奈良輪政五	船田兼司	橋本礼子	三浦道雄	鈴木高大	
賛否の分かれた議案																									
◆市長提出議案																									
議案番号	件名																								
議案第6号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について			○可決	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第25号	令和4年度君津市一般会計予算			○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第26号	令和4年度君津市国民健康保険特別会計予算			○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第28号	令和4年度君津市介護保険特別会計予算			○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第29号	令和4年度君津市後期高齢者医療特別会計予算			○可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対



／市政を問う！／

一般 質問

Q & A

第1回定例会において、代表質問では関連質問を含め5会派8人が、個人質問では5人が質問を行いました。

質問の大綱については下記のとおりです。

マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。また、関連質問については、質問項目を本文に掲載しています。

なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

※質問時間について、代表質問は90分から60分に、個人質問は60分から45分に短縮して一般質問を行いました。

代表質問

令和新政

P.6

小倉 靖幸 議員

- ・施政方針について
- ・土地活用の具現化について
- ・緊急時における対応について
- ・2050年カーボンニュートラルの実現に向けて
- ・学校再編について

創政会

P.6

高橋 明 議員

- ・市民の命と暮らしを守るコロナ対策について
- ・新総合計画をさらに進める創政会の提案について
- ・市長公約実現の状況について

かがやき君津

P.7

橋本 礼子 議員

- ・新たな総合計画の前期基本計画における財政見通しについて
- ・「経済と環境が調和したまち」について
- ・「誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち」について
- ・「安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち」について
- ・「快適で安心して暮らせるまち」について
- ・「ともに創る次世代につながるまち」について

公明党

P.7

野上 慎治 議員

- ・「ひとが輝き幸せつながきみつ」の推進について
- ・女性活躍社会の推進について
- ・安全安心のまちづくり推進について
- ・他市に先駆けた子育て支援の推進について

関連質問 佐藤 葉子 議員
高橋 健治 議員

きみつ未来

P.8

磯貝 清 議員

- ・石井市政の主要実績について
- ・令和4年度施政方針について
- ・令和4年度君津市総合計画について
- ・令和4年度予算編成方針について

関連質問 松本 裕次郎 議員

村上 幸人 議員

P.9

令和新政

- ・今後の財政運営について
- ・民法の改正について
- ・高齢者福祉等について

三浦 道雄 議員

P.9

諸派・日本共産党

- ・施政方針について
- ・福祉・医療行政について
- ・環境行政について

下田 剣吾 議員

P.9

創政会

- ・市長公約「乗り合い交通網の整備」について
- ・子ども、若者のための政策を充実させるために
- ・道路の破損について
- ・公平でハラスメントのない市役所の実現について

個人質問

保坂 好一 議員

P.8

創政会

- ・森林環境問題について
- ・エネルギー開発事業について
- ・福祉サービスの充実について
- ・公共施設の耐震について

須永 和良 議員

P.10

令和新政

- ・君津市本庁舎の再整備について
- ・学校再編第3次実施プログラムについて
- ・市内産業廃棄物最終処分場の増設への対応について



令和新政
小倉 靖幸 議員

市政運営

Q 施政方針で5つの柱と4つの戦略プロジェクトを掲げた市長の思いを伺う。

A 施政方針では新たな総合計画の5つの柱に沿って施策を推進していくと申し上げた。さらに国・県とも連携し地方創生を強力に推し進めるため、重点的に取り組むべきテーマを4つに絞る戦略的プロジェクトとして位置付けた。様々な可能性を有する君津はもつと元気になるの思いを持ち、将来都市像「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」の実現に全力を尽くす。

予算編成

Q 新たな総合計画の初年度として、どのような考えで予算編成を行ったのか伺う。

A 新たな総合計画の5つの柱と4つの戦略的プロジェクトを推進するための予算とした。特に公共施設等の整備については将来に先送りすることなく着実に取り組む。厳しい財政状況の中でもあらゆる角度から財源確保に努め、施策を具現化する実施計画と連動させ、新たな総合計画の実効性を確保する。

徹底した経営改革

Q 重点的に取り組む改革内容について伺う。

A 令和4年度は、事務事業の見直し、業務生産性の向上、ファシリティマネジメントの推進、職員の意識改革に重点的に取り組み、徹底した経営改革を推し進め、将来を見据えた強固な行財政基盤の構築を進める。

君津IC周辺の活用

Q 方向性を定め具現化するためプロジェクトチームを組織し、早急に着手すべきと考えるが見解を伺う。

A 君津インターチェンジ周辺は本市の拠点であると認識している。今後、検討委員会で庁内横断的に取り組むほか、外部有識者を交えた懇話会を設置する。新たな産業の受け皿の実現に向け、未来志向で土地利用の方向性を示していく。

学校再編

Q 新たな総合計画におけるまちづくりの方向性と学校再編との整合性について伺う。

A 子どもたちにとってよりよい教育環境の整備を第一に考え、学校の適正規模の確保により、活力ある魅力的な学校づくりを推進するとともにまちづくりの方向性に沿った学校のあり方について検討する。



創政会
高橋 明 議員

アグリ（農業）・脱炭素バレー構想を提案する

Q 本市と同じようにインター周辺の農地規制に悩む茨城県常総市は農業の活性化を目的とした構想を定め、道の駅や民間商業施設などをつくるプロジェクトを始動させた。創政会はこれに脱炭素の考えも加えた「君津市版アグリ（農業）・脱炭素バレー構想」を提案する。また区画整理を民間が行う一括業務代行方式も検討すべきと考えるが、見解を伺う。

A 君津インター周辺の土地利用実現に向け、企業立地に向けた可能性調査や他自治体の土地利用動向調査など、ご提案の内容を含め、あらゆる可能性を検討する。整備手法についても土地利用の方向性を定める際にどのような方式が最適なのかを検討する。

Q 常総市の構想の核は道の駅である。

A 本市も亀山地区だけでなく、インター周辺や周南地区など戦略的に進めるべきと考えるが、見解を伺う。

A 市道八重原線も開通することを踏まえ、周南地区を含めたインター周辺の道の駅も今後、検討材料の一つと考える。活性化のために、文化ホールの駐車場の一部を活用してホテルを誘致すべきと考えるが、見解を伺う。

A 収益性のある策を講じて新たな財源を確保していくことは重要であり、文化ホールの利用者への影響を考慮しながら資産の有効活用を検討していく。

がら資産の有効活用を検討していく。

Q 郡ダムを活用した水上スキーによる地域活性化

A スポーツによる地域活性化が注目される中、郡ダムを活用した水上スキーは地域資源を有効活用する点でも大変意義がある。これまでの取組内容や課題、今後の見通しについて見解を伺う。

A 郡ダムは首都圏からのアクセスや地形的にも水上スキー競技に適していることから、平成27年度より実証実験を行ってきた。昨年11月には県知事や国会議員などを招き全日本学生水上スキー連盟の新人戦を開催、延べ600人が参加した。現状は湖面利用期間が秋季から冬季に限られているため通年利用の早期実現に向け県との協議を重ね、水上スキーの聖地としたい。

市長公約実現の状況

Q 石井市長の選挙公約の達成率について伺う。

A 市長就任後、市民や議会をはじめとした様々な方々との協働、連携の絆を結びながら公約の実現を図ってきた。進捗よく状況は、就任時点から引き続き推進しているものが約23%、就任時点から内容を変更したものが約25%、新たに実現したものが約27%、新たに着手したものが約18%、未着手のものが約7%である。



かがやき君津

橋本 礼子議員

財政の見通し

Q 令和4年度を初年度とする前期基本計画の財政見通しと大規模投資事業について伺う。

A 市税収入については、おおむね横ばいで推移していくものと見込んでいる。歳出については、経常的経費の増加を見込み、大規模投資事業については清和地区拠点整備事業、大和田・坂田小学校統合施設整備事業、(仮称)貞元保育園整備事業等に比較的大きな規模の投資事業の予算枠を設けた。

Q 新たな財源の確保が重要となるが、遊休資産の活用状況について伺う。

A 跡地利用として旧香木原小学校の狨師工房ランドや旧あけぼの保育園の企業研修施設等の活用があり、今後、旧三島小、旧坂畑小、旧亀山中の活用に取り組んでいく。遊休資産の売却の実績としては、郡地先の市有地、愛宕地先市有林、旧南子安教職員住宅、旧南子安共同調理場、人見保育園用地等がある。

誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち

Q すべての人が孤立することなく安心して生活ができる環境づくりは地域の共生のまちづくりには欠かせないが、障害者への取組について、どのように強化していくとしているのか伺う。

A 地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務を行う基幹相談支援センターを設置した。当センターを中心として障害者の地域の相談支援体制を強化していく。

Q 庁内での相談対応の充実が必要と考えるが、見解を伺う。

A センターによる市役所での出張相談の実施により、各課の職員との情報共有や連携が図りやすくなったことから引き続き、出張相談回数増加や相談スペースの確保などを検討し、相談対応の充実を図っていく。

快適で安心して暮らせるまち

Q 新たな総合計画の策定に合わせた君津市都市計画マスタープランの改定や立地適正化計画の策定状況について伺う。

A 都市計画マスタープランは現在の計画に時点修正を加え、土地利用方針や将来都市構造の見直しに取り組んでいる。立地適正化計画は、都市計画マスタープランを具現化するために、現在策定に取り組んでいる。

Q 都市部の活性化と特色に応じた拠点の形式は、どのような考え方で進めるのか伺う。

A 総合計画における拠点づくりの考え方に基づき、新たに設置する拠点形成推進室を中心に庁内連携を図りながら、各地区の拠点の方向性を検討していく。



公明党

野上 慎治議員

職員及び地域人材の育成が君津の未来を左右する！

Q 「きみつ若者会議」を設置し、職員及び地域人材を継続的に育成することが重要と考えるが、見解を伺う。

A 「ひとが輝き幸せつなぐきみつ」を実現するためには君津の将来を担う世代の柔軟な発想力や行動力を生かすことが重要である。若い世代をはじめとする地域人材と市職員が希望に満ちた君津の未来の実現に向け、地域の課題解決を目指す新たな仕組みづくりに取り組む。

女性の活躍が社会を変える！

Q 誰もが活躍できる持続可能な社会にしていこうためには、女性をはじめ多様な人材が能力と意欲に応じて活躍できるよう、男性中心社会を改革する必要がある。本市の女性活躍推進の取組について伺う。

A 仕事と家事、育児等との両立支援のため、学童保育の支援や待機児童解消に向けた保育士の確保、安全・安心な保育環境整備に積極的に取り組む。また、市職員、特に男性職員が育児休業を取得しやすい環境作りに向け制度の周知にとどまらず、周りの職員の理解が深まり、仕事と子育てが両立しやすくなるよう「イクボス宣言」の検討も含め、職場環境の整備を進める。

自主防災組織の交流の場を設け、組織の活性化を！

Q 災害による被害は日頃の備えによって減らすことが可能であり、そのた

めには自助・共助の力を高める行政の関わりが重要である。自主防災組織の交流の場を設け、情報交換することにより活動の推進や改善が図れると考えるが、見解を伺う。

A 自主防災組織の組織率の向上を目指すとともに、個々の組織をより活性化していくことが地域防災力の向上につながると考える。交流の場を設けることは、防災知識の向上や防災意識の高揚、組織の活性化に有効であるので早期実現に向けて取り組む。

段階的に高校生の医療費無償化の実現を！

Q 入院医療費の助成など、段階的に高校生の医療費を無償化することについて見解を伺う。

A 東金市のように高校生については入院医療費を助成対象としている例もあるので検討していく。

関連質問 佐藤 葉子議員



▼女性の健康支援について
▼学童保育の改革について

関連質問 高橋 健治議員



▼防災力の強化について



きみつ未来
磯貝 清議員

石井市政の主要実績

Q 選挙時における公約とその進捗よくについて伺う。

A 「きみつ元氣プラン」に公約としてまとめ、市長に就任、各分野にわたって示した事業のうち、9割を超える着手率を達成することができた。引き続き、市民一人ひとりの幸せをつなぐよう、令和4年度始まる新たな総合計画の着実な推進を図り、「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」の実現に向け挑み続けていく。

令和4年度施政方針

Q 組織運営の特徴や変更点について伺う。

A 1点目は地域拠点形成について企画政策部を中心に関係部が連携し、安心して暮らせる環境づくりや定住促進、君津インター周辺の活用、地域の活性化などを図っていく。2点目は新たに健康こども部を設置し、妊娠・出産・子育て期にわたる一貫した支援体制の充実を図っていく。スポーツ行政を総合的かつ一体的に推進し、健康増進や関係人口の拡大を図る。3点目は経済部と市民環境部を統合、経済環境部に再編し、持続的な経済成長と脱炭素社会の実現の両立を目指していく。

Q 君津市商工・観光アクションプランにおける情報発信の強化、きみつ応援団の活用、ゴルフ場の活用戦略について伺う。

いて伺う。

A SNS等のデジタル情報発信を重点的に強化するとともに、イベント開催などにより観光客の増加を図る。きみつ大好きだぜー応援団については、自身のSNSや様々な場面で君津の魅力を紹介していただく。ゴルフ場については、交流人口の増加に向けて活用策を検討していく。

Q フレイル予防出前講座の実施にあたり、実態をどのように把握し、対応を図るか伺う。

A 今年度の新たな取組として君津市フレイル予防出前講座を始めた。フレイル状態に至る健康課題を分析し、地域の特性に応じた出前講座となるように対応していく。

Q 新たな取組である「きみつ赤ちゃん応援パック」の具体的な内容を伺う。

A 「きみつ赤ちゃん応援パック事業」は、生後3か月から1歳までの間、紙おむつ等、育児用品の配布を通じ、訪問、声かけによる子育て家庭の見守りを行う。今後、人材育成や事業スキームの精査を行い、10月からの実施を目指している。

関連質問 松本 裕次郎議員



▼待機児童の解消について



創政会
保坂 好一議員

ナラ枯れの対策

Q 市街地等のナラ枯れの巨木を地主が処理するには多くの費用が掛かるが、対策を伺う。

A ナラ枯れ被害木については、市民や家屋に危険が多いことが懸念され、防災という一面もあることから、森林環境贈与税を財源とする被害木の伐採除去の補助金制度について調査研究していく。

エネルギー開発事業

Q 小水力・風力発電の事業化など、太陽光だけでなく、持続可能エネルギー事業について見解を伺う。

A 再生可能エネルギーの地産地消を推進することは、経済と環境を循環させる「グリーン成長」を実現する上で重要な取組であり、気象条件や地理的特性を踏まえた、再生可能エネルギーの導入のポテンシャルについて様々な角度から検討していく。

高齢者、障がい者の権利擁護

Q 成年後見制度を十分に機能させるには知識と人材が必要と考えるが、今後の体制について伺う。

A 高齢社会の進行で成年後見人の需要増加が見込まれるため、きみつ成年後見支援センターの人材確保や育成に対し、どのような支援が必要か検討していく。

公民館の応急対策補強

Q 小糸・小櫃公民館の応急対策の工法と構造耐震指標（I値）はどのくらい向上するのか伺う。

A 大規模地震に対し人命を確保できるよう技術評価を取得したI値に捉われない特許による方法で、強靱なポリエステル材を柱などに巻き付ける補強を行う予定である。公民館として使用を継続させるための応急対策であり、今後の再整備による抜本的な解決までの間、安全に利用できるよう整備していく。

スマートフォン用アプリ「マチイロ」で「議会だより」をご覧ください。

アプリをダウンロードし、「お住まいの地域」で君津市を選択すると、いつでもどこでもスマホやタブレットなどで「議会だより」を閲覧することができます。



マチイロ

Android 用
スマホ・
タブレット▶



iOS 用
iPhone・
iPad など▶



※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担になります。



令和新政
村上 幸人 議員

今後の財政運営

Q 令和3年度の普通交付税の算定結果は交付団体と
なったが、その要因と本市が受けるメリット、デ
メリット、新たな総合計画スタートの令和4年度の交
付税の見通し、財政運営について伺う。

A 主な要因として個人及び法人市民税の減額、高齢
者保健福祉費、地域振興費の増額と新たに地域デ
ジタル社会推進費が創設されたことによるもので、メ
リットは国庫補助金の補助率が高くなることや臨時財
政対策債の発行が可能であること、デメリットは市独
自の様々な施策を行うことが難しい状況となることであ
る。令和4年度は、再び不交付団体になることを見込
んでおり、市税等の徴収率の向上や補助金の獲得など
財源確保に取り組み、健全な財政運営に努めていく。

民法の改正

Q 成年年齢が18歳に引き下げられ様々な契約が可能
となった。社会経験の乏しい新成人が詐欺等の被
害に遭わぬよう、啓発活動等を行っているか伺う。

A 啓発冊子を作成し、成人式や市内各公民館で配布
するなどの注意喚起と、消費生活センター職員に
よる出前講座や具体的なトラブルに対する相談を行う
とともに、消費者ホットライン188や君津市消費生
活センターなどの相談窓口の周知に努めていく。

高齢者福祉等

Q コロナ禍で介護保険サービスの利用控えからのス
トレスや家庭内介護の負担の増加が見られるが、
対策を伺う。

A 運動量の減少を解消するため、動画配信サービス
を活用し、理学療法士による自宅でできるロコモ予
防体操の動画を配信している。



諸派・日本共産党
三浦 道雄 議員

市長の政治姿勢

Q 施政方針に危険なオスプレイ問題が一言も触れら
れなかったのはなぜなのか伺う。

A 引き続き、千葉県及び木更津市をはじめとした県
内の関係自治体と情報を共有し、市民の皆様の不
安を払拭できるよう努める。

高い国民健康保険税の大幅引下げ

Q 全国知事会が、1兆円の公費負担増を求めている
ことについての認識を伺う。

A 国民皆保険制度の最後の支え手である国民健康保
険を将来にわたって持続可能なものとするため、国
の1兆円の公費負担増は、国保の財政基盤の強化を図
るためにも必要なものであると認識している。国から
1兆円の公費負担増があつた場合、国民健康保険加入
者世帯への影響は、一人当たり3万8千円程度の減額が
見込まれる。また、国が示したモデル世帯である給与
収入420万円、40歳代夫婦と子供2人の4人世帯の
場合では、「協会けんぽ」の保険料額が約25万円、本市
の国民健康保険税額は約44万円となる。引き続き、財
政支援の拡充を要望していきたい。

新井総合施設株式会社の動向

Q 第3期処分場の建設の動向について伺う。

A 現在は第3の2処分場の建設工事が進められてお
り、当該埋立地における土砂の掘削工事やコンク
リート堰堤の築造工事に加え、水処理プラントの建設
工事が行われている。進捗率は67%で、予定どおり
に工事が進められている。



創政会
下田 剣吾 議員

公約の乗合い交通は小糸だけでなく周南も

Q 新年度に実現するスクールバスを活用した実証実
験について、周南地区の山間部でも検討してほし
いが、見解を伺う。

A 実証実験では小糸地区内において週2日程度、日
中の時間、予約制で最寄りの自治会館等から地区
内のスーパ、病院や基幹交通に接続するバス停までの
送迎を検討し8月頃開始を目指している。隣接エリアへ
の拡大は交通事業者の意見なども踏まえ検討する。

Q 劇的な速さでの実現であり、関東ではどの市も
やっていないため画期的である。周南の山間部は
一度もコミュニティバスが走っていない。泉と尾車は
隣接しており、前向きに検討してほしいが見解を伺う。

A 今回は小糸での実証実験だが、周辺地区への運行
拡大について事業者の意見も踏まえ検討する。

県外の一部事業者による道路破損や汚れを許すな

Q 完成したばかりの市道などで側溝の蓋が割れ、路
面が汚れているが、見解を伺う。

A 側溝の破損は大型車が入り口として利用したこと
が原因であり、事業者の責任で改修を指導した。
汚損も原因である事業者に、路面修理と清掃を行うよ
うに指導している。

若者のため中止した成人式の代替行事を

Q 新型コロナウイルスにより成人式が中止となった若者のた
め代替行事を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

A オンラインなどによる代替事業を実施したが、今
後も若者の希望に沿えるよう実行委員会と意見交
換していく。

Q 今年の新成人はやれてよかった。中止された世代
のために何かやってほしいが、見解を伺う。

A 実行委員会とどういった形がいいのか協議した上で、
当事者たちが納得するような形にしていきたい。



令和新政
須永 和良 議員

産業廃棄物最終処分場の増設を止め水源を守る

Q 令和4年度施政方針では「本市のかけがえのない財産である豊かな水と緑を守り、後世に引き継いでいくことは、私たちに課せられた重要な責務であります。この貴重な財産を脅かすことにはしては」と書かれているが、この脅かすこととはどのようなことを指しているのか伺う。また、しっかりと監視を行うと書かれているが、脅かす行為に対する行動が監視というのはどういうことなのか詳細を伺う。

A 施政方針では、臨海地域の工場や各種事業所で環境法令等に適合しない活動が行われた場合や、増設を繰り返す産業廃棄物最終処分場を含め、本市の貴重な財産を脅かす行為に対しての強い姿勢を表明した。中でも産業廃棄物最終処分場については、当初から一貫して反対しているところであり、現在もその考えは変わっていない。現在、第3期増設工事が進められており、既に第3の1処分場は稼働していることから、当該建設工事の施工状況や廃棄物の埋立て状況を現地を確認するとともに、水処理施設の排水や御腹川の水質検査、巡回パトロール等を行うことにより、周辺地域の自然環境や生活環境に影響が及ばないよう、引き続き監視に努めていく。

Q 監視するという言葉が多いが、何かをしている行為を監視では止められない。昨年3月の議会での私の質問に対して水源涵養保安林の指定には地権者からの要望が必要という答えだったが、その後、地権者に要望するかどうかの意向調査を行ったかどうか伺う。

A 実施していない。

Q 水源涵養保安林に指定してほしいという要望があったら、真摯に対応するのかどうか伺う。

A そのような相談があれば、真摯に対応していく。

委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案をそれぞれ審査しました。主な議案の審査概要は、次のとおりです。

総務常任委員会

審査案件（議案第2号から議案第6号、議案第11号、議案第15号、議案第17号、議案第20号、議案第31号）

◆議案第3号

君津市庁舎整備基金条例の制定

（内容） 多くの公共施設で老朽化が進み、その維持管理や更新等に多額の費用が見込まれる中、市庁舎の整備に係る事業に必要な財源確保に向け、君津市庁舎整備基金を設置する条例を新たに制定しようとするもの。

問 基金の目標額について伺う。

答 庁舎の規模等によっても変わってくるが、他市の事例を参考に将来見込まれる既存施設の解体費やアスベストの除去費等も考慮し、事業費の2割程度を目指し、積み立てるものである。

問 庁舎の整備手法及び基金の使途について伺う。

答 整備手法については、延べ床面積の縮減を図りながら市単独での整備だけでなく、民間活力の活用や様々な手法を検討するなど、柔軟に取り組んでいく。また、基金の使途に関しては、将来



本庁舎

の整備手法によっても異なってくるが、本体建設のほか、既存施設の解体に係る費用や備品の購入等にも充てることが考えられる。

意見 整備の方向性や手法を定め、目標を持って、積立てを行うことを望む。（全会一致で可決すべきものと決定）

◆議案第6号

会計年度任用職員の期末手当の支給率引下げ

（内容） 千葉県及び近隣市等の状況を踏まえ、会計年度任用職員の期末手当の支給率の引下げを行うため、条例の一部を改正しようとするもの。

問 年間の1人当たりの影響額について伺う。

答 フルタイムの事務職については、年間8千円程度、パートタイムの事務職については、年間5千円程度の減額となる。

反対討論 公務員の給与の引下げは民間労働者の給与の引下げに連動する危険があり、地域経済に多大な影響を与える可能性があるとともに、若い世代の職員的生活設計への影響を鑑みると、同意できない。

賛成討論 昨年12月定例会で、一般職の職員及び常勤の特別職の期末手当について、民間との支給格差を解消するとして千葉県人事院勧告を踏まえ、引下げを行ったところであり、会計年度任用職員についても、千葉県や近隣市で引下げを行っている状況を鑑み、一定の引き下げを行うことは、やむを得ないものと理解する。（賛成多数で可決すべきものと決定）



※議案名は、議案の審議結果（4ページ）を参照してください。

◆議案第17号

財産の無償貸し付け

(内容) 空き公共施設となった旧坂畑小学校及び旧亀山中学校について、公募型プロポーザルで優先交渉権者として選定された事業者、運動場部分を除いた両校の土地及び建物等を無償で貸し付けるにあたり、議会の議決を求めるもの。

問 今後の事業者との関わり方及び事業の開始時期について伺う。

答 事業者の経営状況及び施設の運営状況を把握しながら、地域の声を事業者に向け、共に地域活性化に向けて取り組んでいく。また、通信環境の整備や水回りの工事を行い春の行楽シーズンに向けて開業する計画となっている。(全会一致で可決すべきものと決定)



旧坂畑小学校



旧亀山中学校

●教育福祉常任委員会

審査案件(議案第7号、議案第9号、議案第13号、議案第14号、議案第16号、議案第19号から議案第21号、議案第23号、議案第24号、議案第31号、議案第32号)

◆議案第7号

君津市山中育英基金の運用方法の変更

(内容) 当該基金を取り崩しながら活用することにより寄付者の想いである周南小学校及び周南中学校の教育振興をより一層推進するため、条例の一部を改正しようとするもの。

問 見直しの経緯及び関係者への意向確認について伺う。

答 運用益が1年に50万円程度ある時期もあったが、年々、利息が低下し、現在は9千円程度となっていることから、周南地区の中小学校の教育振興をさらに図るため、基金を取り崩しつつ活用しようとするものである。寄附者が亡くなっているため、ご遺族に対し、意向確認を行い、同意をいただいた。



周南中学校



周南小学校

◆議案第16号

君津市子だから祝金の廃止

(内容) 新たな総合計画の柱の一つに掲げている安心して子育て・子育てでき、学びを楽しめるまちの実現に向けて、子だから祝金給付事業を見直し、第1子目からを対象とした新たな子育て支援施策へと転換するため、君津市子だから祝金支給条例を廃止しようとするもの。

問 新たな子育て支援策に係る政策形成のプロセスについて伺う。

答 タウンミーティングにおける子育て世代との直接的な対話や、若手職員からの意見を聞き、対象となる子どものために生かせる事業にしたいという思いから、新たな施策について決定した。

意見 多くの子育て世代のニーズを把握し、若い世代が、実際に子育てをするなかで喜ばれるよう、新たな支援策に取り組みたい。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第20号(補正予算)

(仮称)君津市立貞元保育園新築工事 基本・実施設計業務委託

問 事業の進捗状況及び子育て支援センターの機能について伺う。

答 次期施設の設計について、設計業者と保育士を交えて協議を行っており、全保育士を対象にアンケートを行うなど、現場の意見を聞きながら、子育て支援センターの機能も含め、慎重に検討している。



新型コロナウイルス感染症対策事業

問 現在の接種状況について伺う。

答 2回目までの接種率は89%であるが、現在も1回目接種の方が1日当たり20名程度いる。3回目の接種率は8.5%である。

意見 接種券の発送、予約方法等、全ての市民に等しく情報が届くよう、様々な手法により周知を図りたい。

問 繰越明許となった経緯及び早期に接種する取組について伺う。

答 ワクチンの3回目の接種について、当初、国の方針では2回目の接種から8か月経過後としていたが、7か月、6か月と前倒しされたことに伴う調整及び65歳以上の方の接種方法について、予約の日時、場所を指定するための医療機関との調整に時間を要し、年度内執行が一部困難となった。今後、早期の接種に向けて、市内医療機関の接種枠を増やしてもらえよう、近日常に、働きかけを行う予定である。

意見 高齢者や子どもたちへのワクチン接種への対応など、国の方針に遅れることがないよう体制を整え、取り組まれない。(全会一致で可決すべきものと決定)



接種が進む新型コロナウイルスワクチン

● **経済環境常任委員会**
(現 建設経済常任委員会)

審査案件 (議案第8号、議案第10号、議案第12号、議案第18号、議案第20号、議案第22号、議案第30号、議案第31号)

◆ **議案第18号**

事故に係る損害賠償の額の決定及び和解

(内容) 平成30年2月18日、君津市中野4丁目15番9地先の市道歩道部の街路樹の根上がりによる隆起を原因とした自転車転倒事故について、相手方と損害賠償に係る示談交渉を続けていたものの、合意に至らず、令和2年2月21日に本市に対し、損害賠償等を求めて訴えの提起がなされ、令和3年4月28日の第1審判決は、本市の道路の管理瑕疵を認定し、相手方の損害賠償請求の一部を認めるものであった。本市としては、判決内容を不服として、令和3年5月12日に控訴し、東京高等裁判所での審議の結果、過失割合については君津市7割、原告3割、賠償金額370万円を支払うことで和解協議が調ったことから、議会の議決を求めるもの。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆ **議案第20号 (補正予算)**

旧秋元小学校複合化整備事業

意見 契約の変更等がない中、受注者との協議に不測の日数を要し、繰越明許となったのであれば、これまでの協議の経過や今後の事業の進め方など詳細を示した上で、議論がなされるべきであると考ええる。



旧秋元小学校

答 当該施設の整備は、行政施設の耐震性の問題と学校再編を進める中で、統合によって使用しなくなった旧秋元小学校を活用し、公民館などの行政機能と地域活性化機能を複合化するという全国的にも事例の少ない取組であることから、整備内容の整理や検討等に時間を要した。また、当初は特定財源となる地方創生拠点整備交付金の獲得に向け、国と調整を進めていたが、当該交付金は、高いレベルの事業運営が求められることから、行政機能を最優先に整備することに加え、地域活性化機能については、交付金の活用を見込まない整備を進めることとした。それらに伴う、受注者等との協議、調整等にさらに日数を要したことなどにより、年度内の完了が困難となり、やむなく繰越しとなったものである。

◆ **議案第30号**

市民体育館屋根・外壁改修工事請負変更契約の締結

当該設計業務については、令和3年度に策定した基本計画を基に進めているところであるが、内容の変更については、検討や精査などに時間を要することなどから、来年度の設計変更を考えている。

賛成討論 委員等からの指摘を真摯に受け止め、今後、こうした形の繰越しが起らないよう努めるとともに、スピード感をもって事業を進められたい。(全会一致で可決すべきものと決定)

(内容) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、工事資材である屋根材の調達に不測の日数を要したこと、また、外壁の改修において、当初設計では確認できなかったクラックが多数発見され、補修箇所が増加したこと、工事期限を令和4年6月30日まで延長するとともに、当初の請負金額に、893万2千円を増額し、変更後の請負金額を2億3千713万8千円とする変更契約を締結しようとするもの。

問 クラックが発見された経緯及びクラックの発生原因について伺う。

答 当初設計の段階では、足場等がない中で、外周をまわり、塗装の上からクラックの確認を行ったが、外壁改修工事の実施にあたり、足場を組んで塗装をはがしたところ、塗装の下に発生しているクラックが多数発見されたものである。発見されたクラックについては、経年劣化によるコンクリートの乾燥・収縮により発生したもので、クラックの大きさ等を確認し、対応が必要



市民体育館



なものについて補修を行うものである。なお、構造物変異するような大きなクラックは見つかっていない。また、今回の改修工事にあたり、損傷が激しい雨どいや軒下等の補修もあわせて行う予定である。

意見 工事を進める中での追加対応についてはやむを得ない面もあるが、本来、当初設計の段階で、現状をしっかり把握し、工事に着手すべきではないかと考える。今後もしこういったことが起こらないよう十分留意しながら、事業を執行されたい。(全会一致で可決すべきものと決定)

令和
4年度

一般会計当初予算

3月9日の本会議において予算審査特別委員会が設置され、3月16日、17日、18日の3日間にわたり、10名の委員が令和4年度一般会計予算をはじめ各特別会計予算の審査を行いました。

慎重審査の結果、議案第25号から議案第29号、議案第33号のすべての議案が、それぞれ全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

委員会における主な質疑等、審査の概要については、14～15ページに掲載しています。



【予算審査特別委員名簿】

委員長＝加藤喜代美 副委員長＝下田剣吾
委員＝鈴木高大、宇野晋平、村上幸人、石上壘、佐藤葉子、奈良輪政五、橋本礼子、高橋明

令和4年度 主要事業

1億4,224万1千円

デジタル防災行政無線 施設整備事業

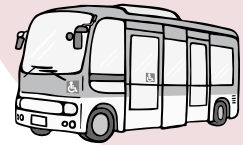
これまでの工事結果や要望等を踏まえ、設計内容を調整し、防災行政無線施設のデジタル波対応工事を完了させる。



940万1千円

総合交通体系整備 促進事業

地域公共交通網形成計画に基づき公共交通の利便性向上及び利用促進を図るとともに、新たな交通計画の策定に着手する。



2億6,589万4千円

清和地区拠点施設 整備事業

旧秋元小学校を活用し、老朽化した行政センターや公民館、保育園等の行政機能を複合化し、公共施設の再配置先行モデルとして、清和地区拠点施設を整備する。



新規

1,027万3千円

きみつ赤ちゃん 応援バック事業

0歳児とその保護者の見守り・家庭支援のため、紙おむつ等の配送による声掛け訪問を行う。



新規

420万円

地元採用促進事業

日本学生支援機構が実施する企業の奨学金返還支援（代理返還）制度を活用し、事業者が採用した市民の奨学金の代理返還分の一部を補助することで、市内中小企業の人材獲得支援と学生等の定住促進を図る。



新規

800万円

君津インターチェンジ 周辺土地利用検討事業

君津インターチェンジ周辺における、新たな土地利用の検討を行うため、事業者に対してアンケート等を行う。



新規

1,080万2千円

脱炭素社会推進事業

環境グリーン都市宣言を踏まえ、新たな実行計画を策定するとともに、市民を対象としたシンポジウムを開催し脱炭素に係る意識の高揚を図ることで、2050年カーボンニュートラルの達成を目指す。

新規

495万円

公民館等再整備事業

老朽化が著しい3公民館の移設や更新等に係る基本計画の策定支援業務を委託する。



予算審査 特別委員会の概要



加藤喜代美委員長

議案第25号 一般会計予算

問 今後の税収全体の見通しについて伺う。

答 令和4年度以降は回復傾向が期待されるが、市税に関しては大幅な増収が見込めない状況にあることから、引き続き、徴収率の向上を目指すとともに、遊休資産の売却及び貸付、国庫補助金の活用等、財源の確保を図っていく。また、ファシリティマネジメントの推進や事業見直し等経営改革に努め、財政運営を行っていく。

問 情報発信ツール管理運営事業の事業内容について伺う。

答 現在のホームページのデザインは更新後5年を経過しており、ホームページ閲覧者の約70%がスマートフォン利用者であることを踏まえ、スマートフォンからの見やすさを改善するとともに、多文化共生の観点から、やさしい日本語に変換する機能を追加し、リニューアルするもの。

意見 市民への情報発信において、万全なセキュリティ対策を望む。



問 きみつ赤ちゃん応援バック事業に關し、効果的な支援を行うための工夫等について伺う。

答 見守り支援を行う職員に対し、個人情報の保護など、法令面を理解した上で、訪問の際には家庭内の環境に目をくばり、心配な家庭のサインなどを発見できるように、研修等の実施や訪問時チェックシートの作成などを考えている。また、支援を拒否された場合でも、関係機関と連携しながら、適宜、家庭訪問を行うなど、様々な方面からのアプローチを行っていく。

意見 訪問時には、ファミリーサポートセンター事業や病児・病後児保育事業など、他の支援制度の紹介を行いながら、包括的な子育て支援の推進を図られたい。



問 感染症予防事業に關し、HPVワクチンの接種勧奨に伴う、キャッチアップ接種について伺う。

答 令和4年4月から子宮頸がん予防のため、HPVワクチンの積極的な接種勧奨を再開するものであり、キャッチアップ接種の対象者は、約2千600人である。現在、君津木更津医師会と接種の進め方等に

ついて検討を行っているが、対象となる若者への効果的な周知方法等についても、あわせて検討していきたい。

意見 SNSツール等をうまく活用し、効果的な情報発信を行いながら接種勧奨に努められたい。



問 聖地公園管理運営事業に關し、事業運営の見通し及び墓地の販売促進に向けた取組について伺う。

答 当該事業については、第2期整備に係る借入金償還が令和3年度末をもって終了し、令和4年度から特別会計から一般会計に編入となるが、歳入となる墓園使用料や管理手数料等については3千76万9千円を見込んでおり、歳入が歳出を約1千100万円上回ることから、予算上、十分運営ができるものと考えている。また、墓地の販売数についても、年々伸びている状況であり、令和4年度は、新たにフリーペーパー「びびなび」に情報を掲載するなど、引き続き販売促進に向けて取り組んでいく。



君津市宮聖地公園

問 キャッシュレス決済推進事業及びキャッシュレス決済を通じた消費喚起事業に關し、利用を促進する取組について伺う。

答 利用者講座を開催し、幅広い年齢層に普及を図ること、また、第二弾ということで電子決済について、ペイペイだけでなく、d払いやau Payなども加えて、利便性を高めることで、より多くの消費者、企業に電子決済を導入していただき、二事業が両輪となりながら、市内経済の活性化を図っていく。

問 危険ブロック塀等除却事業の実施方法について伺う。

答 平成30年度から令和3年度にかけて、小中学校における全ての通学路沿いにあるブロック塀を点検し、現行基準に沿って、所有者に対し指導等を行っているところであるが、その中でもひび割れや傾き等があるブロック塀の現地確認の様子



ブロック塀現地確認の様子

撤去を速やかに実施してもらえよう所有者に対し、その工事費の一部を補助することで、地震発生時におけるブロック塀の倒壊を未然に防ぎ、被害の防止を図っていく。

意見 ここ最近、地震が多いことからスピード感を持って事業に取り組まれない。

問 消防自動車購入事業に関し、更新が必要な消防団車両の台数について伺う。

答 消防団車両の更新の計画は概ね22年を経過したものとしており、更新を迎える車両は4台である。

意見 消防団車両は災害時等において、人命の救出にも関わることから早急に更新されたい。



災害時に活躍する消防車両

問 災害時通信機器整備事業に関し、君津市WEB防災マップ等によるDXの推進について伺う。

答 現在導入しているシステムは洪水浸水想定区域や、土砂災害警戒区域、地震や津波に関する情報を地図に重ね合わせ、スマートフォンなどで確認することができものである。今後、DX推進計画に基づき、合理化、適正化を図るため、個別システムの更新時期に合わせて庁内情報システムの統合を進めていきたい。

意見 業務のコスト削減と市民の利便性の向上のため、庁内の情報を統合し、さらなる活用を望む。



問 ICT活用推進事業に関し、これまでの実績について伺う。

答 ICTの活用状況は、タブレット型端末や大型提示装置の導入前と比較して、小学校、中学校ともに、月の平均で十時間以上増加しており、県の指導主事からも、子どもたちのタブレット操作のスキルが高いと評価を受けている。

意見 児童生徒のみならず、教職員へのサポートを継続されたい。

議案第26号 国民健康保険特別会計予算

問 出産育児一時金に関し、子育て施策との連携について伺う。

答 安心して子育てするためには、これら事業は必要不可欠な取組であり、直接的な連携はなくとも新たな子育て施策の周知等も図っていききたい。

議案第28号 介護保険特別会計予算

問 生活支援体制整備事業に関し、令和3年度予算と比較し、増額となった理由について伺う。

答 現在、第2層の生活支援コーディネーターを地区社会福祉協議会ごとに8人配置しており、令和4年度から、上総地区を久留里、松丘、亀山の3地区に分け、10人に増員したことに伴う増額である。

委員会討論



賛成

●議案第25号

財政需要が年々増加する中で、歳入面においては、固定資産税などの増収を見込むとともに、国・県支出金や市債を積極的に活用するなど財政基盤の改善が図られているものと理解する。

また、歳出面についても、新たな総合計画に掲げる将来都市像の実現に向け、各施策を着実に実行していくための予算編成がなされているものと理解する。

障害を抱える方などを支援する基幹相談支援センターが設置されたことに伴い、障害等に関する相談事業の推進に大いに期待する。

飼料用米等拡大支援や収入保険加入促進の取組はコロナ禍で大きな打撃を受けた農業者の経営安定化を図るための、効果的な取組であると理解する。

生活バス路線の整備において、周西線を延伸し、君津駅から清和地区への直通バスを運行することはコミュニティバスの経費の削減にもつながることから実現を望む。

●議案第28号

第8期介護保険事業計画に基づき、介護基盤の整備や認知症高齢者の増加などに対応した相談支援体制の充実が図られるものと理解する。

議会基本条例に基づく

議員間討議を実施

委員会審査における各委員の意見等の集約を行うため、議員間討議を実施し、3月25日の本会議の委員長報告では、以下の事項について、委員会の意見として申し添えを行いました。

内容

①インフラ整備は、市として、継続的に取り組むべき重要な事業であることを認識され、特に、通学路は児童生徒の安全確保を第一とし、危険箇所については、必要な安全対策を早急に実施すること。また、市道の整備や老朽化の進むトンネルや橋梁の長寿命化対策においても、計画的な予算確保にあたること。

②清和地区拠点施設整備事業や小糸、小櫃、周南の3公民館をはじめとする本市の公共施設再整備については、建設費の抑制に留意しつつ、各施設計画に基づき遅滞なく、着実に進めていくこと。

新たな衛生センターが稼働を開始しました

同施設は、老朽化に伴い更新を進めていたもので、し尿処理施設の機能に加え、資源循環を図る機能を備えた施設として、令和4年4月1日に稼働しました。設備の自動化・集約化による効率的な処理を行うとともに、安定的な水処理や汚泥の有効利用を図っています。なお、市議会では稼働開始にあたり、施設の見学を行いました。



市道広岡加名盛線「大盛橋」 竣工式

令和4年3月24日、市道広岡加名盛線の大盛橋竣工式が開催され、三浦章議長をはじめ、関係市議会議員が出席しました。新しい大盛橋の開通により、安全の確保と利便性の向上が期待されます。



ロシアによる ウクライナへの軍事侵攻に 対する共同声明を発表

令和4年3月7日、君津市議会は、君津市と共同で、ロシアによる軍事侵攻に対し、抗議と非難の意を強く表明するとともに、ロシア軍の即時無条件での撤退を強く求める声明を発表しました。ウクライナの犠牲者への哀悼と平和への祈念を含め、3月12日から21日までの間、久留里城がウクライナの国旗の色にライトアップされました。



議会本会議を配信しています！

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。また、本会議の翌日（土日祝日を除く）に速報版として無編集の録画映像を見ることができます。ぜひご視聴ください。

配信内容 定例会及び臨時会の本会議

注 意 速報版は無編集の映像となっています。本会議後おおむね7日以内に議事日程や一般質問の議員ごとに編集した映像への切り替えを行います。

配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

アクセス方法 ①君津市議会ホームページの左下にある「インターネット中継」をクリック

②左側に「本会議ライブ配信」「本会議録画配信」等のメニューが表示されますので、視聴したいページを選択し、ご視聴ください。

☆スマホ・タブレットからもご視聴いただけます。通信費は利用者の負担になります。



議会配信は
こちらから

令和4年 第2回定例会 6月2日(木) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

- 委員長／奈良輪 政五
- 副委員長／須永 和良
- 委員／佐藤 葉子 石上 壘 小倉 靖幸

● 発行／令和4年5月1日

● 編集／きみつ市議会だより編集委員会

〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局

● TEL 0439-56-1497

● URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>